

NEWS RELEASE

報道関係各位

2025 年 1 月 31 日

運用効率の向上や将来の拡張性・セキュリティ強化を支える ファームウェアバージョンアップを実施

— ミラーリング機能の拡張や柔軟なネットワーク構成を支援する新機能を搭載 —

アライドテレスیس株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 サチエ オオシマ）は、当社ネットワーク機器の OS 「AlliedWare Plus」のファームウェアバージョンアップにより、一部製品の機能拡張を実施し、当社ウェブサイトから当該ファームウェア「Ver.5.5.4-2.3」のダウンロードサービスを 1 月 31 日より開始いたします。

AlliedWare Plus Ver.5.5.4-2.3、Device GUI Ver.2.19.0

運用効率の向上や将来の拡張性・ セキュリティ強化を支える ファームウェアバージョンアップを実施

— ミラーリング機能の拡張や柔軟なネットワーク構成を支援する新機能を搭載 —

今回のファームウェアバージョンアップで実施した主なエンハンスは下記の通りです。

■ スイッチ製品のエンハンス

<ミラーリング機能の拡張による監視の柔軟性向上>

今回のファームウェアバージョンアップにより、スイッチ製品のミラーリング機能がさらに強化されました（※¹⁾）。これにより、ネットワーク監視の柔軟性が向上し、トラブルシューティングやパフォーマンス管理が一層効率的に行えるようになりました。以下のような新機能が追加され、運用面での利便性向上を支援します。

・ 筐体当たり複数のミラーポートを設定可能に変更

一つの筐体で複数のミラーポートを設定できるようになり、異なるトラフィックを同時に監視できるため、障害時の原因特定が迅速化します。

・ スタックポートを経由しないミラーリングに対応

スタックポートを経由せずにミラーリングできるため、監視データの遅延が抑えられ、ネットワーク全体のパフォーマンスを維持できます。

・ 対象製品：AlliedWare Plus OS 搭載の全スイッチ製品

■ ルーター製品のエンハンス

<ポート切り替えに対応し、将来の拡張に対応したネットワーク運用を支援>

AT-ARX200S-GTX において、1G/10G 対応 LAN ポートをコマンドまたは GUI で簡単に WAN ポートに切り替えることが可能となりました。これにより、大容量通信を必要とするネットワーク環境で、アップリンクとダウンリンクの最適化が実現し、効率的なトラフィック管理や負荷分散が可能になります。

柔軟なネットワーク構成が実現でき、トラフィックの増加に応じた拡張が簡単に行えるため、将来的なトラフィック増加にも対応した運用が可能になります。

・ 対象製品：AT-ARX200S-GTX（※²⁾）

<強化された認証機能で、より細かなネットワークアクセス制御が可能に>

SD-WAN ルーター AT-ARX200S-GTX が、MAC 認証、IEEE 802.1X 認証、Web 認証をサポートします。ネットワークアクセス制御がさらに充実し、端末の接続認証を柔軟に設定できることで、セキュリティポリシーに基づく制御が簡単に実現可能となります。

例えば、BYOD（個人端末の持ち込み）環境の導入に際して、デバイスごとのアクセス制限やセキュリティ強化を実現します。利用者ごとの権限管理が可能となり、不正アクセスを防止し、ネットワークの安全性向上を支援します。

- ・対象製品：AT-ARX200S-GTX

<DPI Web カテゴリ化機能に対応：ネットワーク運用の安全を強化>

アプリケーションコントロール（DPI）機能のオプションとして、Web カテゴリ化機能に対応します。本機能を利用することで、DPI エンジンでは検査するトラフィックのうち、HTTP および HTTPS（TLS）のトラフィックを他の種類のトラフィックと区別して処理し、Web サイトをカテゴリー（Web カテゴリー）ごとに分類できます。これにより、ネットワーク運用の安全性がさらに強化されます。

AT-TQR シリーズ用 Web カテゴリ化ライセンス（※3）

ライセンス名	サポート期間	仕様	価格（税込価格）
AT-TQR-WEB-01	1 年	Web カテゴリ化ライセンス	16,000 円（17,600 円）
AT-TQR-WEB-05	5 年		48,000 円（52,800 円）

ライセンスの詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.allied-telesis.co.jp/products/wireless/license/>

- ・対象製品：AT-TQR シリーズ

<GeoIP のサポートでセキュリティを向上>

今回のバージョンアップで IP アドレスからその発信元の地理的な位置を特定する GeoIP 機能を新たにサポートします。IP アドレスの地理的情報を活用して、特定の地域からのアクセスを制御することが可能になります。たとえば、企業ネットワークにおいてアクセス元を限定する設定を行えば、不正アクセスや意図しない通信を効果的に抑制でき、より高いセキュリティ対策を実現できます。

- ・対象製品：AT-ARX200S-GTX、一部の AR シリーズ、NFV-APL シリーズ（※4）、AT-AR4000S-Cloud（※4）、AT-TQR シリーズ

●バージョンアップ概要

今回のバージョンアップで追加・拡張したその他の機能やサポート範囲などの詳細については、こちらのリリースノートをご覧ください。<https://www.allied-telesis.co.jp/support/>

バージョン名：AlliedWare Plus Ver.5.5.4-2.3、Device GUI Ver.2.19.0

※1）今回のミラーリング機能の拡張において、設定方法によっては、ミラーポートでの輻そうが発生する可能性があります。また、設定できる上限はモデル・シリーズごとに異なります。必ず事前にご確認ください。

※2）本機能はハードウェアバージョン「Rev.C」以降での対応となります。

※3）Web カテゴリ化ライセンスのご利用には、別途アプリケーションコントロールライセンスの購入が必要です。

※4）NFV-APL シリーズ、AT-AR4000S-Cloud は、2 月中旬以降に実施予定のファームウェアバージョンアップでの対応となります。

注）記載されている商品またはサービスの名称等はアライドテレシスホールディングス株式会社、アライドテレシス株式会社およびグループ各社、ならびに第三者や各社の商標または登録商標です。

<<製品に関するお問い合わせ>>

E-Mail: info@allied-telesis.co.jp

<https://www.allied-telesis.co.jp>

アライドテレシス株式会社

<<ニュースリリースに対するお問い合わせ>>

マーケティングコミュニケーション部

Tel: 03-5437-6042 E-Mail: pr_mktg@allied-telesis.co.jp

東京都品川区西五反田 7-21-11 第 2 TOC ビル